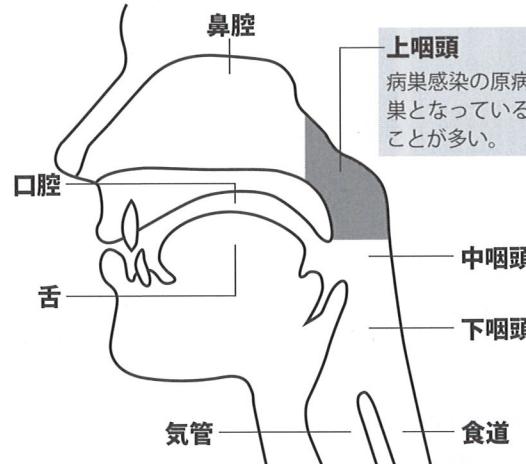


Bスポット療法とは

上咽頭を中心とする耳鼻咽喉科領域の病巣感染の原病巣を、1%塩化亜鉛に浸した脱脂綿を先端に付けた器具で拭っていく治療。東京医科歯科大学の堀口申作教授(当時)によって開発されたが、大学病院には受け継がれず、少数の弟子が技術や理論を引き継いでいる。塩化亜鉛だけでは激しい疼痛を伴うため、現在は表面麻酔薬キシロカインを混ぜることが多い。

Bスポット療法と歯科医療を並行

病巣感染説⁽¹⁾に基づいて診療の目的と方法を組み立て直す歯科医院が増えています。歯とその周囲の形態や機能を再建するだけでなく、局所に起こっている病巣感染を取り除き、他の臓器で慢

性化している難治性の疾患を食い止める

ことをゴールとする歯科医療です。

相田歯科クリニックもその一つ。う蝕

病変、根尖病巣、歯周疾患を口腔内に

おける病巣感染の原病巣と捉え、これを

除去することを目的として診療していま

す。しかし、原病巣が口腔以外にある

ことが多く、歯科での治療のほかに耳鼻

咽喉科での「Bスポット療法」(左図)も

併用して行なうことが一般的です。

通常は歯科や耳鼻科と専門内科が連携

することになりますが、遠方からの患者

さんも多いため、一つの医院で両方の治

療が受けられれば理想的でしょう。相田

歯科クリニックは今年6月、Bスポット

療法のオリジナルの手技を引き継いでい

る谷俊治医師による耳鼻科の外来を併設

しました。これにより、週に1日(2時間)

ですが、歯科口腔領域と耳鼻咽喉科領域

で同時に病巣感染にアプローチできるよ

うになったのです。

現在、Ig-A腎症など病巣感染が原因と見られる難病の患者さんが全国から受診しています。

ただし、保険医療機関としての耳鼻科の登録や、看板での標榜はしていません。保険医療機関として医科の診療科を登録すると、相田歯科クリニック全体が医科医療機関として新たに設置されたと見えます。その場合、個別指導の対象となるのは谷医師となってしまいます。そこまでの負担をお願いするわけにはいきませ

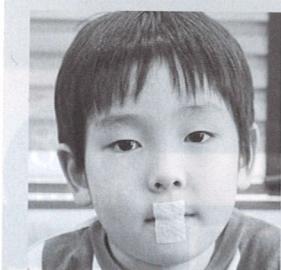
相田歯科クリニックの試み**「病巣感染への対応」で耳鼻科を併設**

相田歯科クリニックでは、口腔、扁桃、上咽頭の病巣感染が慢性の難病の原因の一つであるという考え方から診療を行っています。歯科口腔領域の慢性炎症を抑えるだけでは症状が軽快しない場合、同じ考え方を持つ耳鼻科との連携が必要になります。院長の相田氏は、これまで行ってきた他院・他科との連携だけではなく、自院に耳鼻科を併設し、より緊密な連携を取ることにしました。



●取材協力:
相田能輝 氏
Aida Yoshiteru
東京都・
相田歯科クリニック

●取材・文: 編集部

相田歯科クリニックにおける上咽頭病巣感染の治療**口呼吸の是正**

呼吸を妨げる鼻疾患がない口呼吸では、口にテープを張り、強制的に口呼吸ができないようにする。

**鼻洗浄**

鼻洗浄液を点鼻して上咽頭を洗浄、病巣感染を改善していく。



鼻洗浄液『ミサトール リノローション』(AdaBio社)。耳鼻科担当医がいる日には、塩化亜鉛液も処方することができる。